

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第17号
令和2年6月22日

総合的な学習の時間～世界に視野を向けよう～

総合的な学習の時間に、「異文化や異なる文化をもつ人々を理解しよう」ということで、他国についての調べ学習をしたり、他国の現状を知るための映像による学習をしたりしています。今週は密にならずにパソコン室を使用するために、他国の文化等をパソコンで調べるグループと「発展途上国」といわれている国の生活を映像で学習するグループに分かれて授業を行いました。

国際化が一層進展している社会。みなさんが大人になる頃は、「国」という垣根を越えて、様々な活動が行われるようになることと思います。つまり、みなさんは、国際社会に通用する主体性や発信力などの力を身につけていく必要があります。総合的な学習の時間で自分の生き方、在り方を考えていく上で欠かせない視点です。

これらの学習を通して、他国の文化や異なる文化をもつ人々に対する理解とともに、自分自身の国の文化や伝統を理解し、「国際社会の一員として、どのように生きていくのか」ということを意識して「自分自身の生き方・在り方」を考えていきましょう。

パソコン室での学習に取り組んだグループは、どうやれば必要な情報が手に入るのか、苦戦しながらも、一生懸命課題に取り組んでいました。その国の建築物やお祭りなどの文化の違い、食文化の違いなど、「違い」に気づき、そこに面白さを感じていましたね。

映像での学習後に、今の自分たちの生活と他の国の生活が違うということを知り、「当たり前」についての概念が揺らいだ人もたくさんいたようですね。また、自分自身の日々の過ごし方を振り返り、自分の課題と向き合う中で、「覚悟を決めないといけない」、「逃げ出してはいけない」など、今やるべきことをしっかりとしていきたいという思いを深めた人も多くいました。自分の視点で「自分の外側」を見ることで、「自分の内側」に目を向けて考え、視野を広げることができましたね。

このように「異文化や異なる文化をもつ人々を理解する」学習は、総合的な学習の時間の柱の1つである「自分の進路を選択する」ことにつながります。「知る」ことを学び、「為す」ことを学び、「ともに生きる」ことを学んでいきましょう。

では、映像を見た感想を紹介します。

【授業を通して考えたこと】

- ・今、自分がしている生活が当たり前だと思っていたけれど、他の国では、その当り前の生活ができなくて、子どもが働いていることが分かった。
- ・今、こうして当たり前のように学校に行って授業を受けるということが、当たり前ではなく、世界のどこかでは今一生懸命働いている子どもたちがいて、私たちは幸せなのだと思います。
- ・この1時間を通して、当たり前だと思っていたことは当たり前ではないことに気づくことができました。
- ・このビデオを見て、2年くらい前の断水の時の時期を思い出しました。水や電気、自分たちが当たり前に使っている物にとっても大切さを感じたのが断水でした。忘れかけてきていたその考えや実感を思い出すことができました。
- ・この先の未来がどう変化するのはまだ分からないけれど、これからこの世の中、どう進んでいくのかを考えながら行動に表していけたらいいのかなと思いました。

【授業の様子】

